

リチウムイオン・ナトリウムイオン 2 次電池の材料開発と最新技術  
—市場拡大と車載展開めざして—

電気自動車の動力源となるリチウムイオン 2 次電池では各企業が航続距離の飛躍的向上に向け、高容量化対応を最重要課題の一つとして追及している。そのため、正極材料・負極材料の組成見直し・新規材料の適用による大幅な性能向上に取り組んでいる。さらなる安全性の向上を目指して、セパレータの性能向上のため、耐熱タイプの採用やコーティング技術の向上がはかられている。一方、次世代の 2 次電池として注目されているナトリウムイオン 2 次電池は、低コスト・急速充放電可能・高エネルギー密度の特色を生かすための技術開発が急速に進められており、究極の元素戦略電池としてその発展が期待されている。報道によるとアメリカ・テスラモーターズは電気自動車に搭載するリチウムイオン 2 次電池の大規模電池工場の建設を進めており 2017 年に生産を開始するという。こうした背景のもと、リチウムイオン・ナトリウムイオン 2 次電池の研究開発が急速に進んでおり、本会では、市場拡大と車載展開を目指した研究開発の現状と展望について講師の方々にご講演いただきます。

日 時：2016 年 5 月 19 日(木) 10:20~17:00 (受付 10:00)

場 所：東京理科大学森戸会館 地図：<http://www.tus.ac.jp/facility/morito/>

参加費：非会員 8,000 円(当日現金払い)、光機能材料研究会会員(3 名まで)無料、学生無料(予稿集別途)

予稿集：受付にて配布いたします。

申込先：光機能材料研究会事務局 〒278-8510 千葉県野田市山崎 2 6 4 1

東京理科大学光触媒国際研究センター内 FAX：04-7122-1742

プログラム＝

10:20 開会にあたって

10:25-11:05 リチウムイオン 2 次電池開発の現状と展望—車載展開への技術課題

首都大学東京 金村聖志

11:10-11:50 リチウムイオン 2 次電池用固体電解質の開発

東京工業大学 菅野了次

13:00-13:40 ナトリウムイオン 2 次電池開発の現状と展望

東京理科大学 久保田圭、駒場慎一

13:45-14:25 有機電解液の開発とナトリウムイオン 2 次電池への適用可能性

横浜国立大学 獨古 薫

14:30-15:10 計算科学を駆使したリチウムイオン・ナトリウムイオン 2 次電池の機能解析と材料探索

東京大学 山下晃一

15:25-16:05 放射光 X 線吸収分光法によるリチウムイオン・ナトリウムイオン 2 次電池材料反応解析

京都大学 内本喜晴

16:10-16:50 電池材料と資源問題-2 次電池材料の展望と資源戦略- NIMS 原田幸明

16:50 閉会にあたって

「参加申込書」=(準備の都合上、5/16(月)までにお申し込みください。定員になり次第締め切り。定員満たない場合当日受付可)

(受付確認のご返信はいたしませんのでご了承ください。直接会場にお越しいただければ幸いです。)

資格	<input type="checkbox"/> 非会員(8,000 円)	<input type="checkbox"/> 会員(3 名まで無料)	<input type="checkbox"/> 学生(予稿集別途)
社名			
所属			
氏名(ふりがな)			
住所	〒		
FAX		TEL	
e-mail			

FAX 04-7122-1742